



埼玉県議会議員

# あらい一徳

安心、安全で豊かな暮らしの実現を目指して

平成29年5月  
発行：あらい一徳  
あらい一徳県政調査事務所  
〒364-0031 北本市中央1-81  
Tel.048-594-1600 Fax.048-594-1602

県政調査事務所は、月～金のAM9:30～PM5:30に開設中。ご意見ご要望をお寄せください。

## 本年度も安心・安全で豊かな暮らしの実現のために全力投球!!

平成29年度がスタートし、私も県議会議員として7年目を迎えました。本年度において、常任委員会は警察危機管理防災委員会委員長に就任するとともに、特別委員会は地方創生・行財政改革特別委員会に所属いたしました。

昨年度は熊本地震をはじめとする大規模な自然災害や、千葉県松戸市で小学生の女児が殺害されるといった、痛ましい事件などが続発しました。あらためて、安心・安全なまちづくりの重要性を再認識させられた一年間でもありました。これらの事柄は、本年度所属する常任委員会と極めて密接に関連することであり、私のモットーとする「安心・安全で豊かな暮らしの実現」を目指して、日々の県政活動にしっかりと取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

あらい一徳県政報告14号では、1兆8,644億円を計上した平成29年度一般会計予算のうち、北本市関連の本年度予算の事業や、昨年12月定例会での一般質問の状況、日々の県政活動などをご報告させていただきます。

### 本年度も北本市関連予算が多く盛り込まれる

平成29年度の県事業に向けて、北本市民の皆様から多くのご要望をいただき、私もその実現のために日ごろから努力してまいりました。

その結果、多くの事業が本年度、実施されることになりました。その主な事業は、次の通りです。

- ① 中山道について、本宿・北本地域における道路整備など
- ② 県道東松山橋川線について、荒井地域の舗装整備
- ③ 県道蓮田鴻巣線について、北中丸・朝日・中丸地域の舗装整備
- ④ 県道下石戸上菅蒲線について、山中・宮内地域の舗装整備
- ⑤ 県道さいたま鴻巣線について、西高尾地域の歩道整備
- ⑥ 上尾道路Ⅱ期区間(北本市石戸宿～鴻巣市箕田)について、調査設計や用地買収などを継続
- ⑦ 埼玉県自然学習センターの空調設備改修
- ⑧ 県立北本高校の整備事業として、食堂兼合宿所の耐震設計やトイレ改修設計など
- ⑨ 北本市が進める放課後子供教室事業への補助
- ⑩ 北本市が進める学校応援団事業への補助
- ⑪ 北本市が進める健康長寿埼玉モデル普及事業への補助
- ⑫ 彩の未来地域連携事業(定住促進策として、児童・生徒らの地元企業訪問など)



### 一般質問において、県に積極的に提言を行う

昨年の12月定例会では、県議会本会議において6度目の一般質問を行いました。今回は県の政策形成のあり方や、人材育成をはじめ、皆様の生の声を踏まえて、医療・福祉や農業、教育、経済振興、地元のインフラ整備などをテーマに、具体的な提案・提言を行いながら、県の考えを質しました。

#### 女性幹部の育成へ 抜本的改革を

質問 県庁の女性職員に対する人事は旧態依然と硬直化している。組織の円滑な運営を持続させるには、女性職員を若いうちから、県庁組織全体を見渡せるような部署、例えば人事課や財政課などに配属させ、将来の管理職候補として、しっかり

りと育成すべきだ。女性職員の育成を抜本的に見直すべきと考えるが、いかがか?

総務部長 女性の活躍を推進するには、女性職員の管理職へ向けた意欲と能力を高めることが重要であり、新井議員ご指摘の通り、若いうちから全庁を見渡せるような業務を積極的に経験させ磨きをかけていくことが必要だ。今後、若い女性

### 職員については、本人の能力や適性に

職員については、本人の能力や適性に依り、県庁全体を見渡せるような課に配置して、困難な業務を多く経験させるなど、キャリア形成に資する人材育成を行うとともに、女性が力を発揮できる環境整備を進め、意欲と能力のある女性職員の登用を積極的に推進する。

#### リビングウィルの積極的な推進を

質問 最近、「終活」という言葉をよく耳にする。人生のエンディングを考えることを通じ、自分をみつめ、今をより良く、自分らしく生きる活動のことである。今後、導入される予定の、在宅医療を中心とした「地域包括ケアシステム」の主眼は「自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられること」にある。であれば、自らの終末期医療をどう望むかを意思表示しておくべきであり、生きている間に効力を発揮する遺言、いわゆる「リビングウィル」を残しておくよう、啓発活動をすべきと考えるが、いかがか?

保健医療部長 最近、自分らしく人生の最期を迎えられるよう、不治の病で死期が近づいた時に延命治療を望まない方が増えている。新井議員ご指摘の通り、特に在宅医療の現場では、医師に自らの希望を伝えておくことが重要だ。すでに一部の在宅医療連携拠点では市町村と一緒に住民向けに、リビングウィルの啓発を行った事例もある。国も自らの最期の迎え方について考える市民講座などを市町村に求めている。今後、県としても、患者や患者家族だけでなく、今は元気な方にもリビングウィルや終活について考えてもらうよう、積極的に支援していく。

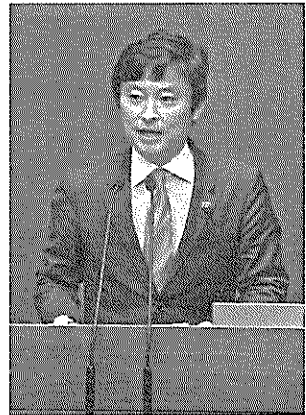
### 儲かる農業への 抜本的な転換を

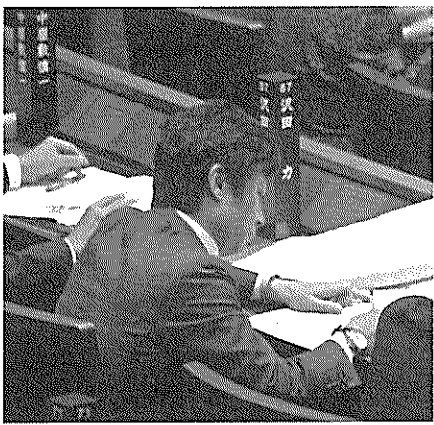
質問 近年、農業経営の環境は大変厳しい状況にあるが、逆に、新たな需要を創出する好機と捉え、儲かる農業への抜本的な転換を図るべく、県として積極的に支援すべきと考える。県が、付加価値の高い品種の栽培の実証実験に取り組み、新たな品種を県内生産者に普及させるとともに、食品製造業や飲食店との橋渡しを併せて進めるべきと考えるが、いかがか?

農林部長 儲かる埼玉農業の実現には、新井議員ご指摘の通り、高付加価値で差別化の図れる品種の導入を進めることが重要だ。国などが育成した品種のうち、将来需要の拡大が見込まれる品種を、県の試験研究機関で栽培実証し、現場に普及していけば農家の所得の向上を図ることができると。新井議員のご提言を踏まえ、生産者への支援を行うとともに、食品製造業や飲食店との橋渡しを進めていきたいと考えている。

### 海外進出を検討する 県内企業への人材支援を

質問 今後の急速な少子高齢化や人口減少社会に対応できる産業構造を築くことが不可欠だ。本県の99%を占める中小企業が収益力を高め、競争に勝ち抜けるよう、





質問 先日、障害のあるお子さんを持つ保護者から、「余暇を同年代の仲間や友人とともに過ごす機

### 障害のある青年の 余暇活動の支援を

県として積極的に支援、例えば人材の確保や育成を行うべきと考える。本県には、海外進出に意欲を示す中小企業が一定数、存在する。海外の需要増に対応する市場開拓のため、県が中小企業向けに、海外でビジネス経験のある人を紹介する「人材バンク」を設置することや、現地の大学生と県内企業とのマッチングをしてはどうかか？

産業労働部長 新井議員にご提案いただいた「人材バンク」だが、人材不足に悩む中小企業にとっては大変意義ある取り組みだ。県内には商社などを退職されたシニアなどがたくさん存在するので、そうした人材を活用して、どのような支援ができるのか、検討してみたい。現在、海外の取り組みとしては、日本語教育に取り組み4力国7大学と協力関係づくりを進めている。先日は、ベトナムの大学で、本県企業を対象とした企業説明会を開催したばかりだ。今後も、県内企業をより深く知ってもらう機会を数多く創出し、マッチングを進めていきたい。

会がほとんどない」と悩みを打ち明けられた。特別支援学校を卒業して社会に出て、自宅と職場や福祉就労の場との往復だけに陥ってしまっただ。生きがいをもって自立した生活を送れるように、障害があっても、余暇を仲間と楽しく過ごせるように、県として支援すべきと考えるが、いかがか？

福祉部長 新井議員ご指摘の通り、障害のある方が余暇を仲間と楽しく交流できる機会を確保することが必要と考えている。現在、障害のある方が身近な地域で余暇を楽しむことができるように、市町村や障害者団体などの人材育成を行っており、今後とも、県として障害のある方が身近な地域での余暇活動に参加できるように、しっかりと取り組んでいく。

### 県央地域の インフラ整備を

質問 現在、都市計画道路南大通線は市内山中地区で行き止まりとなっており、周辺の県道は交通渋滞を引き起こしている。昨今は圏央道の開通で、北本市内の道路の交通量は確実に増加している。北本市内には東西を結ぶ幹線道路がないことを考えると、県央地域の交通の円滑化や災害時の輸送道路としての機能確保といった観点から、一日も早い延伸が地元の悲願だ。

県土整備部長 都市計画道路南大通線の延伸については、圏央道や上尾道路I期区間の開通などにより、交通利便性が向上したことから、今後の交通状況や土地利用動向などを踏まえながら、北本市とともに効果的な整備のあり方について検討していく。

### 道路整備を国土交通省に要望

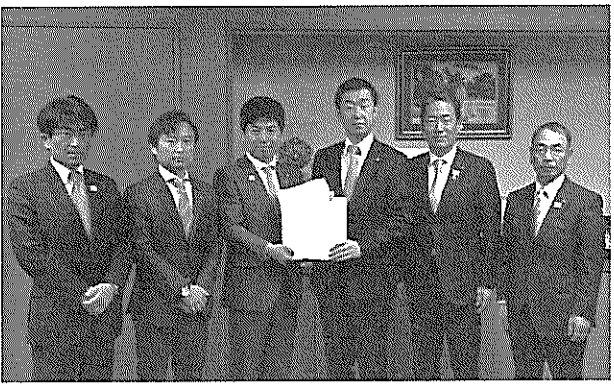
国道17号の老朽化した路面の修繕に着手、上尾道路II期区間早期整備も要望

道路網の整備は、地域間交流を活性化させ、県民の安全で安心な暮らしを支える必要不可欠な社会資本です。その整備を強力に推進するための要望活動にも精力的に取り組んでいます。

先ごろも、国土交通省に田中良生副大臣や武藤浩事務次官を訪ね、

- ①首都高速道路の圏央道までの延伸
- ②上尾道路II期区間の早期整備
- ③国道17号の老朽化した路面の修繕

などを強く求めました。

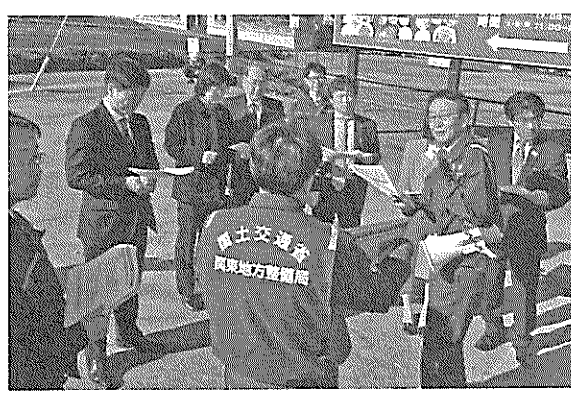


田中良生国土交通副大臣に要望書を提出

特に国道17号の修繕については、沿道の皆様から「大型車の通行に伴う振動が激しく、日常生活に支障を来している」との切実なお声が寄せられていましたので、早急な対応を求めました。

その結果、国土交通省の担当者に速やかに、路面のひび割れ状況

などを確認いただき、まずは北本市深井地区で先行的に路面補修に着手していただきました。本年度から、北本市内の国道17号すべてについて、路面改修を順次行っていくこととします。



深井地区の路面状況と問題点を説明

### JR・国土交通省と意見交換 強く要望

近年、人身事故や設備故障などが原因で、JR高崎線のダイヤが大幅に乱れる事態が増加しています。こうした状況への対応策を協議するため、JR東日本や国土交通省の関係者との意見交換を先ごろ、実施いたしました。



JR高崎線の遅延対策や事故防止の対策等を要望

この意見交換の場では、人身事故の防止策として、各駅へのホームドアの設置や、線路への侵入防止策の強化とともに、老朽化した設備の更新などを要望しました。加えて、事故発生時における折り返し運転の迅速な実施や代替手段としてのバス運行など、幅広い対応を強く求めました。

また、先日は、県議会のメンバーとともに、JR町田駅で試験的に導入されている「スマートホームドア」の状況を視察してきました。JR東日本によると、現在、実用化に向けての試験を重ねているとのことでした。同社に対しては今後、遅延が最小限に抑えられるように粘り強く対策の強化を求めていきます。

### スマートホームドアとは

JR東日本グループが開発を手掛ける新型のホームドア。従来のホームドアに比べて、開口部の幅が広く、アルミ製のバーが開閉する簡素な作りが特徴。従来のものと同程度の強度を保ちながら、軽量化を図っている。このため、設備の重みに耐えられるようホームを大規模に改修する必要もなく、工期短縮と低コスト化が可能という。



## 警察危機管理防災委員長と地方創生・行財政改革特別委員に就任

平成29年度は新たに、常任委員会では警察危機管理防災委員会が委員長を任命することにも、特別委員会は地方創生・行財政改革特別委員会に所属することが決まりました。

警察危機管理防災委員会は、埼玉県公安委員会・埼玉県警察本部と知事部局の危機管理防災部に関する事項を審査する委員会です。

凶悪な犯罪や悲惨な事故を未然に防止することにも、大規模な自然災害が発生した際に、その被害の拡大を防ぐ必要があります。そのために、警察官定数の増加をはじめ、生活安全活動や地域活動、交通安全対策の充実を図るとともに、消防・防災や危機管理の強化に努めていきます。

地方創生・行財政改革特別委員会では、それぞれの地域が持つ魅力を生かしたまちづくりや、県庁のさらなる行財政改革に向けて、さまざまな政策提言を行おうと考えています。